



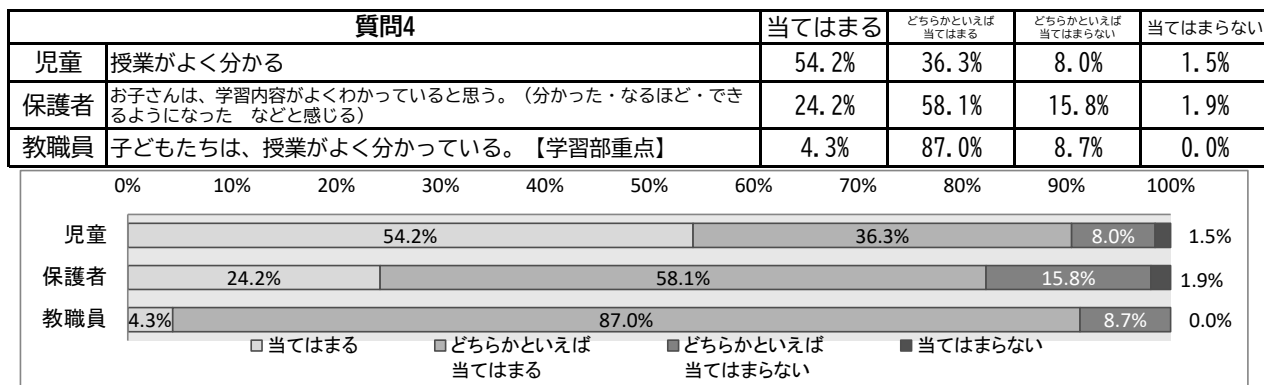
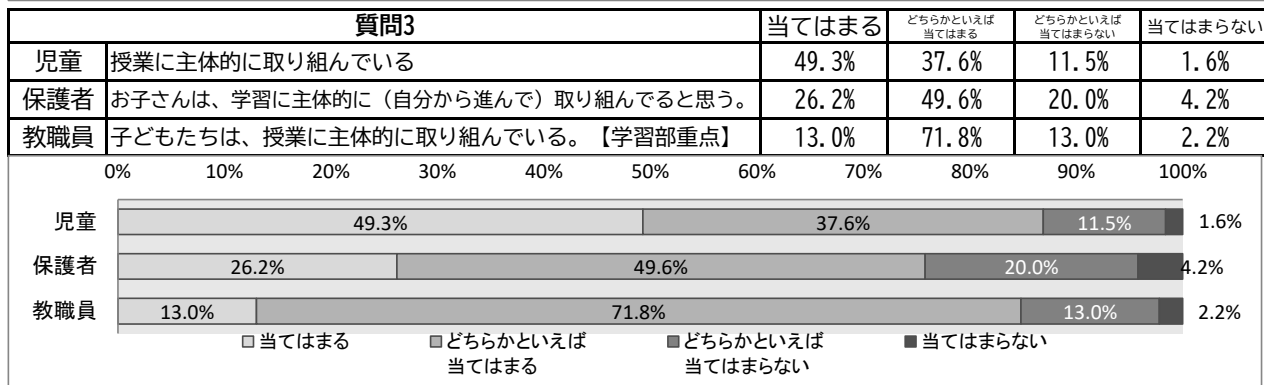
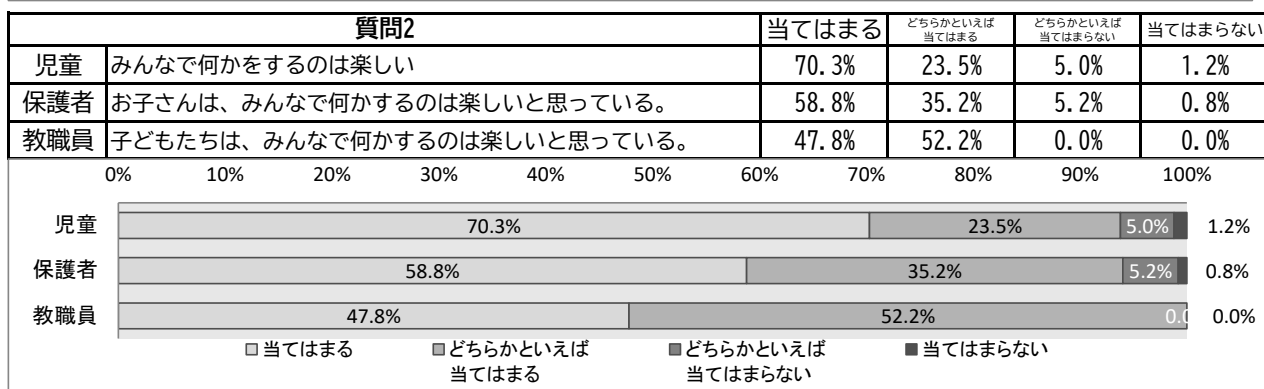
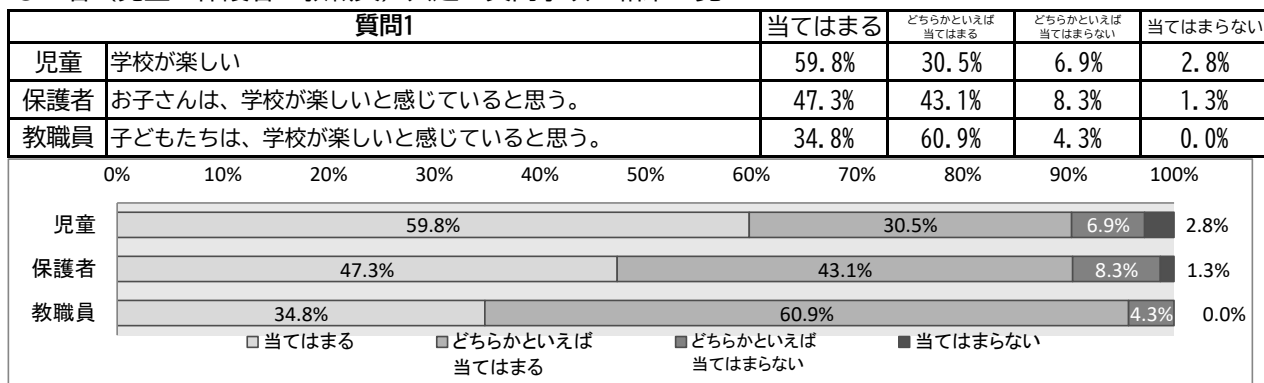
やまな

周南たちばな学園
袋井市立山名小学校
学校だより
令和7年10月6日発行

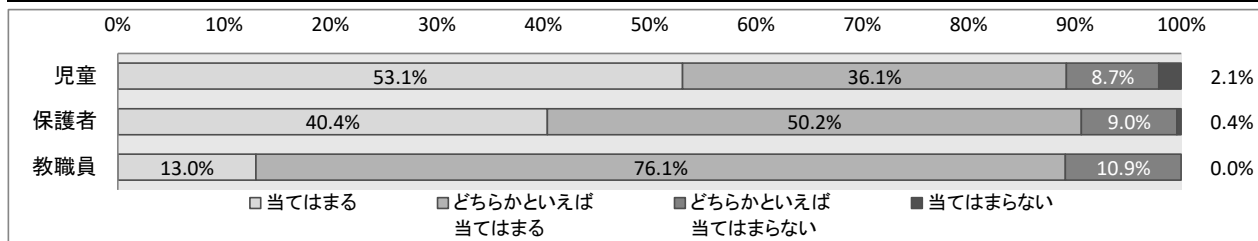
山名小学校の教育活動に関する調査1学期のまとめ（概要版）

1学期に実施した本年度1回目の山名小の教育活動に関する調査の結果がまとまりましたので、御報告いたします。調査への御協力、またたくさんの御意見をいただき、誠にありがとうございました。

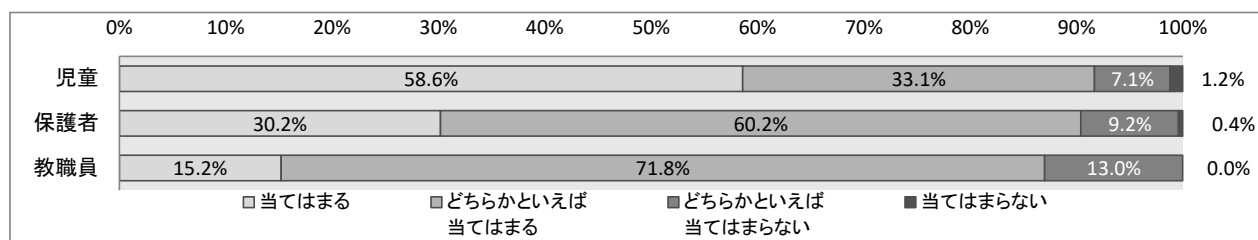
〇三者（児童・保護者・教職員）共通の質問事項の結果一覧



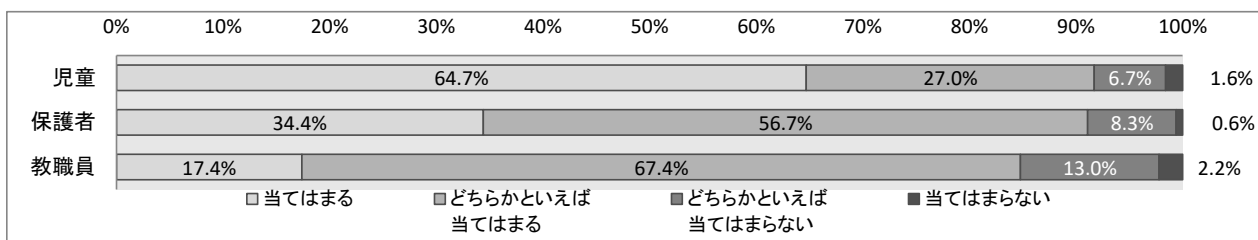
質問5		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	きまりを守って生活している	53.1%	36.1%	8.7%	2.1%
保護者	お子さんは、きまりを守って生活していると思う。	40.4%	50.2%	9.0%	0.4%
教職員	子どもたちは、決まりを守って生活している。【生活部重点】	13.0%	76.1%	10.9%	0.0%



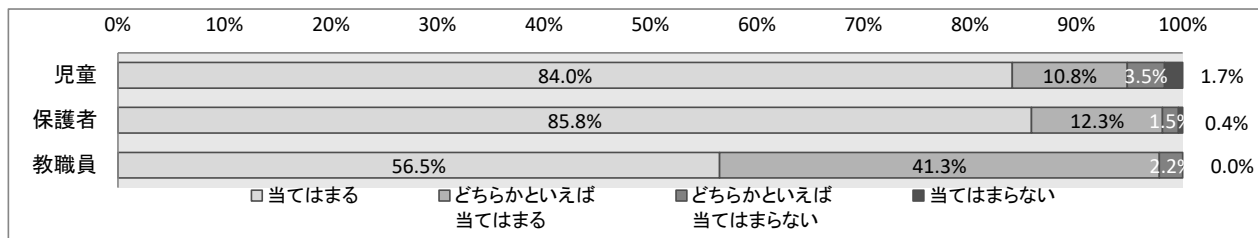
質問6		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	友達に優しい言葉をかけている	58.6%	33.1%	7.1%	1.2%
保護者	お子さんは、周囲の人に優しい言葉をかけて接していると思う。	30.2%	60.2%	9.2%	0.4%
教職員	子どもたちは、友達に優しい言葉をかけている。【生活部重点】	15.2%	71.8%	13.0%	0.0%



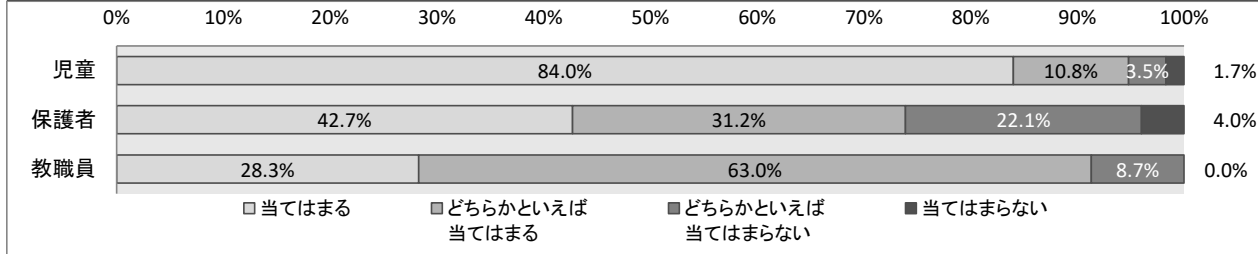
質問7		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	健康や安全に気をつけて生活している	64.7%	27.0%	6.7%	1.6%
保護者	お子さんは、健康や安全に気をつけて生活していると思う。	34.4%	56.7%	8.3%	0.6%
教職員	子どもたちは、健康や安全に気をつけて生活している。	17.4%	67.4%	13.0%	2.2%

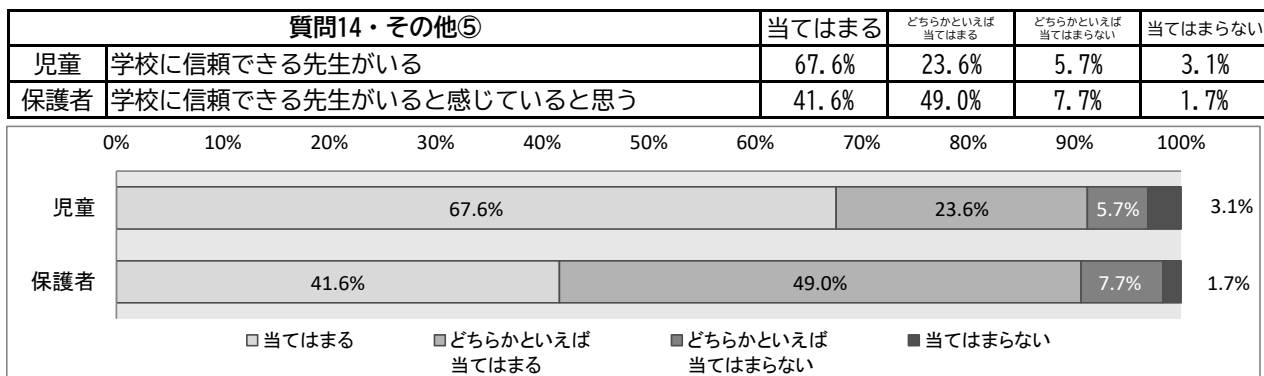
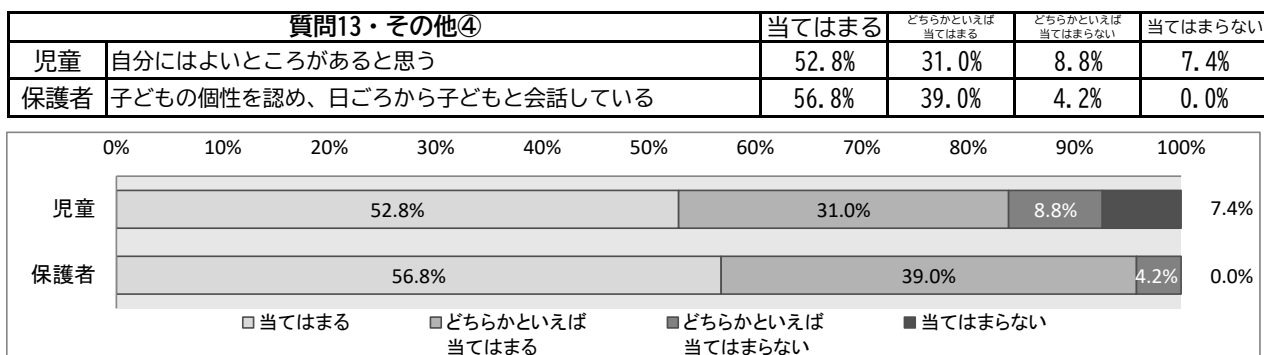
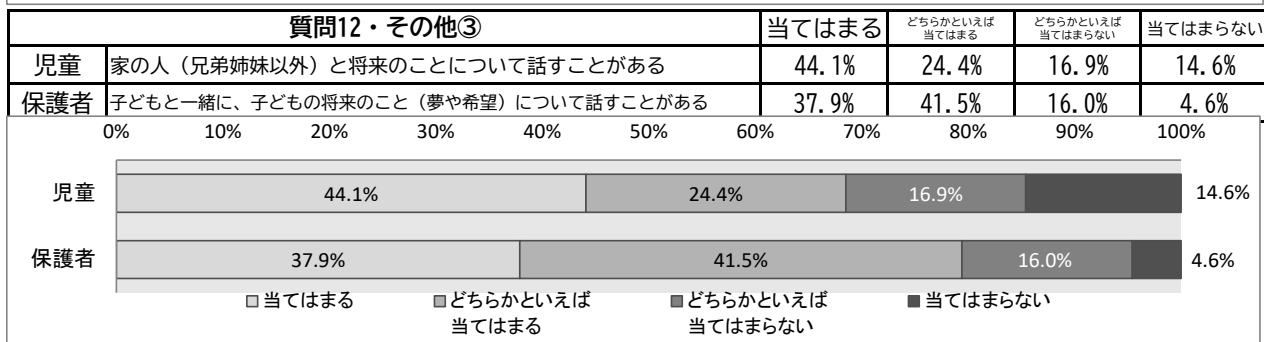
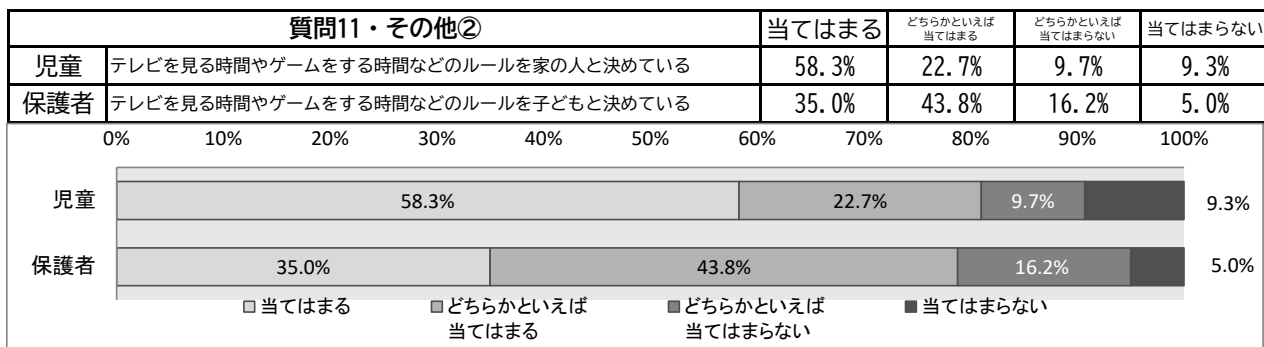
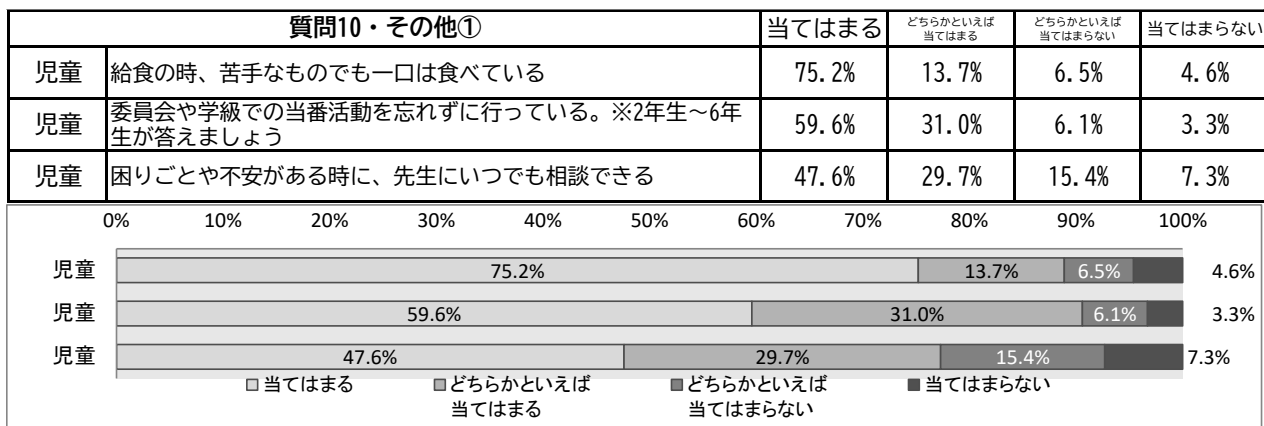


質問8		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	朝ごはんを食べている。	84.0%	10.8%	3.5%	1.7%
保護者	お子さんは、朝ごはんを食べている。	85.8%	12.3%	1.5%	0.4%
教職員	子どもたちは、朝ごはんを食べている。	56.5%	41.3%	2.2%	0.0%



質問9		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	進んで運動している	84.0%	10.8%	3.5%	1.7%
保護者	お子さんは、進んで運動していると思う。	42.7%	31.2%	22.1%	4.0%
教職員	子どもたちは、進んで運動している。	28.3%	63.0%	8.7%	0.0%





○アンケートの結果についての考察

「授業理解」「自分のよさに目を向ける」昨年度より増加！！

本アンケートは、主に市の教育施策がどうであるかを検証するための質問と、山名小の重点項目(主体的に探究する、自ら考え実行する、自発的、自治的に活動する)を検証するための質問から構成しています。また、回答をしやすくするため、質問項目をより分かりやすくシンプルなものにするとともに、保護者の皆様には、御家庭でのお子さんの姿で評価してくださいとし回答を依頼しています。

学習に関しては、児童・教職員ともに質問4「授業がよく分かる」という設問に対して肯定的な回答が増えてきました。今年度の学力・学習状況調査の結果からも自分の考えや思いを書くことに抵抗感が少なく、まとまった量の文章を書くことができる子どもが多いこととも繋がる点はあると思います。授業の中で、学習課題に対する自らの考えである「個のまとめ(納得解)」を書く時間を大切に、継続して取り組んできた成果であると捉えています。しかし、質問3「授業に主体的に取り組んでいる」は、昨年度の2学期とほとんど変化がありません。子どもにとって考えたい「?型の学習課題」の工夫については今後も継続して重視していきます。友達との対話や議論を行うことの必要感を生み出し、あきらめずに、粘り強く追究しようとする意欲や姿勢を今後も育んでいきます。

生活部では、質問6「友達にやさしい言葉をかけている」(昨年度2学期54.8%→今回58.6%)、質問13「自分にはよいところがあると思う」(昨年度2学期49.4%→今回52.8%)と、どちらも増加が見られました。学校では子どもたちが、友達のよさ見つけとして「きらりレター」に夢中になって取り組んだり、委員会を通して「ふわふわことば」の掲示をしたり、学級ごとに「あいさつチャレンジ」を習慣化させたりと、友だちと笑顔で楽しそうに関わり合う姿が多く見られました。また、学校だけでなく、御家庭でのお子さんを認め、励ます言葉や、普段の何気ない会話が増えたことも肯定的な回答が増加した要因であると捉えています。2学期は大きな行事や校外へ出て学ぶ機会も多くなっていきます。そうした機会も大切に活用して、子どもたちの自己有用感や、自己肯定感がさらに高まるよう努めていきます。さらに、子どもたちにも今回のアンケート結果を示して、課題を共有し、「自分たちで山名小学校をもっとよくしよう」「もっと楽しくするにはどうすればいいかな」と考える機会を今後作っていきたいと考えています。

今回も自由記述欄に多数の御意見をいただきありがとうございました。特に「宿題の量」「宿題の内容」「山名っ子ノート」に関しての御意見を多くいただきました。様々な御家庭がありますので学校として出す課題は、9月に配付させていただいた学校だより「2学期からの家庭学習」に掲載した内容を進めていきます。大事なことは「子どもが夢中になれるものの推奨」「個に合った量」「学習習慣の定着」です。もしも、家庭学習がやり終わらない、見ていて辛そうと感じましたら、遠慮なく担任までお知らせください。これからも山名小の子どもたちのために、学校、保護者、地域が手を取り合って支えていきますようお力添えをよろしくお願いいたします。

本内容について、学校ホームページ(<https://yamana-e.fukuroi.ed.jp/>)の「学校評価」に掲載されます。

担当：主幹教諭(平松 直人)
電話：48-6295